

# 平成25年度予算編成について

平成24年10月 財政部

## 1. 基本的な考え方

- 合併後のまちづくりが最終段階を迎えつつある中、「元気な下関」実現のための「地域力創造プロジェクト」など6つのプロジェクトを着実に推進する。
- 本市の財政状況は引き続き厳しく、財政健全化プロジェクトに定めた項目をはじめとする新たな歳入確保や徹底した経費削減に努めるとともに、中長期的な本市の財政状況を的確に認識し、事業のスクラップを行う一方で、市民起点の立場からより効果的な事業に予算配分することで、真に実効性のある予算とする。

## 2. 予算編成のポイント

### (1) 予算編成方法

- ・平成25年3月の市長選を踏まえ、新規の政策的事業を抑制した骨格予算を編成。

### (2) 要求基準（一般財源ベース）755億円

- ・社会保障関係経費の増、地域経済や市民生活を取り巻く環境に配慮。
- ・44億円の財源不足に対し、財政健全化プロジェクトにおける取組み17億円（歳入4億円の確保・歳出1億円の削減、特目基金12億円の活用）と17億円の財政調整基金の取崩し、10億円の歳出削減により対応。

### (3) 予算査定方式

- ・予算の硬直化に対応するため、既存の部局裁量枠方式を見直し、全件一件査定方式により、限られた財源を効果的に再配分。

### (4) 予算要求額（一般財源）の限度額設定

- ・各部局からの予算要求は原則として、前年度当初予算一般財源額の98%。施設の大規模改修等、真にやむを得ない場合に限り98%以上の要求も可。（最大上限102%）

### (5) その他

#### ○インセンティブ予算制度の見直し

- ・行政改革の促進及び住民満足度を向上させる取組みに対しインセンティブ予算を付与。

#### ○交流人口1000万人・宿泊客100万人構想

- ・交流人口拡大により地域の活性化を図るため具体的取組みを継続。

#### ○議会基本条例に対応する分かりやすい政策説明資料の作成

- ・平成24年4月1日に施行された条例に基づき、政策説明資料を作成・提出。